

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
建築学科											
構造力学 2											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	大池 俊樹			実務 経験	有	職種	構造設計				
授業概要											
構造的に安全な建物を設計するために、静定構造及び不静定構造の力学的仕組みについて学びます。											
到達目標											
安全の計算に必要な次の4点を到達目標とする。①はりの断面を仮定することができる。応力度を計算して安全であることを確かめることができる。②トラスの応力を求めることができる。③ラーメンの応力を求めることができる。④不静定構造物について理解する。											
授業方法											
実務との関連を意識しながら、講義と演習を中心に授業を進め理解度を深める。演習では、授業で解説した基本問題についての類題に取り組む。授業の最後に小テストを行ない理解度を確認する。											
成績評価方法											
授業態度、平常点、期末テストなどを総合的に判断する											
履修上の注意											
授業には集中して取り組み、授業ノートを必ずとること。出席は自己管理して出席不足にならないようにすること。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。マナーについては、日本工学院 授業心得（学生用）を守ること。											
教科書教材											
計算の基本から学ぶ建築構造力学 オーム社、ズバッと解ける！建築構造力学問題集200											
回数	授業計画										
第1回	応力度の計算										
第2回	はりの断面算定、断面二次モーメント										
第3回	断面係数										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
建築学科	
構造力学 2	
第 4 回	許容応力度、安全の検討
第 5 回	安全の検討
第 6 回	はりのたわみ、はりの計算例
第 7 回	ラーメンとは
第 8 回	単純ばりラーメンを解く
第 9 回	不静定ラーメンの応力図
第 1 0 回	片持ばりラーメンを解く
第 1 1 回	3 ピンラーメンを解く
第 1 2 回	トラスとは
第 1 3 回	トラスを節点法で解く
第 1 4 回	トラスを切断法で解く
第 1 5 回	不静定構造物